



2022年12月期 第2四半期決算説明会資料

株式会社オプトラ

2022年8月5日



01

2022年度2Q実績

02

トピックス

1. 2022年度2Q実績



1.発表のポイント

【2Q累計】

- 受注高は、1Qに続き好調（2Q累計、270億円）。重点研究開発分野である半導体光学融合や3Dでの技術が、カメラモジュール、車載、半導体等の分野で成果を発揮。
- 売上高は、135億円（前年同期比9%減）。中国国内の新型コロナウイルス感染拡大によるロックダウンの影響を受けた。ロックダウン後、現地での生産活動を加速し、検収作業の支援も強化。
- 営業利益は、32億円（利益率24.4%）。ALD装置を中心に新型装置売上が粗利率に貢献。経常利益は、為替益により44億円。
- 光馳半導体技術（上海）有限公司は、上海市宝山区に土地使用権を取得。ALD事業の本格展開に向けての準備が順調に進捗。

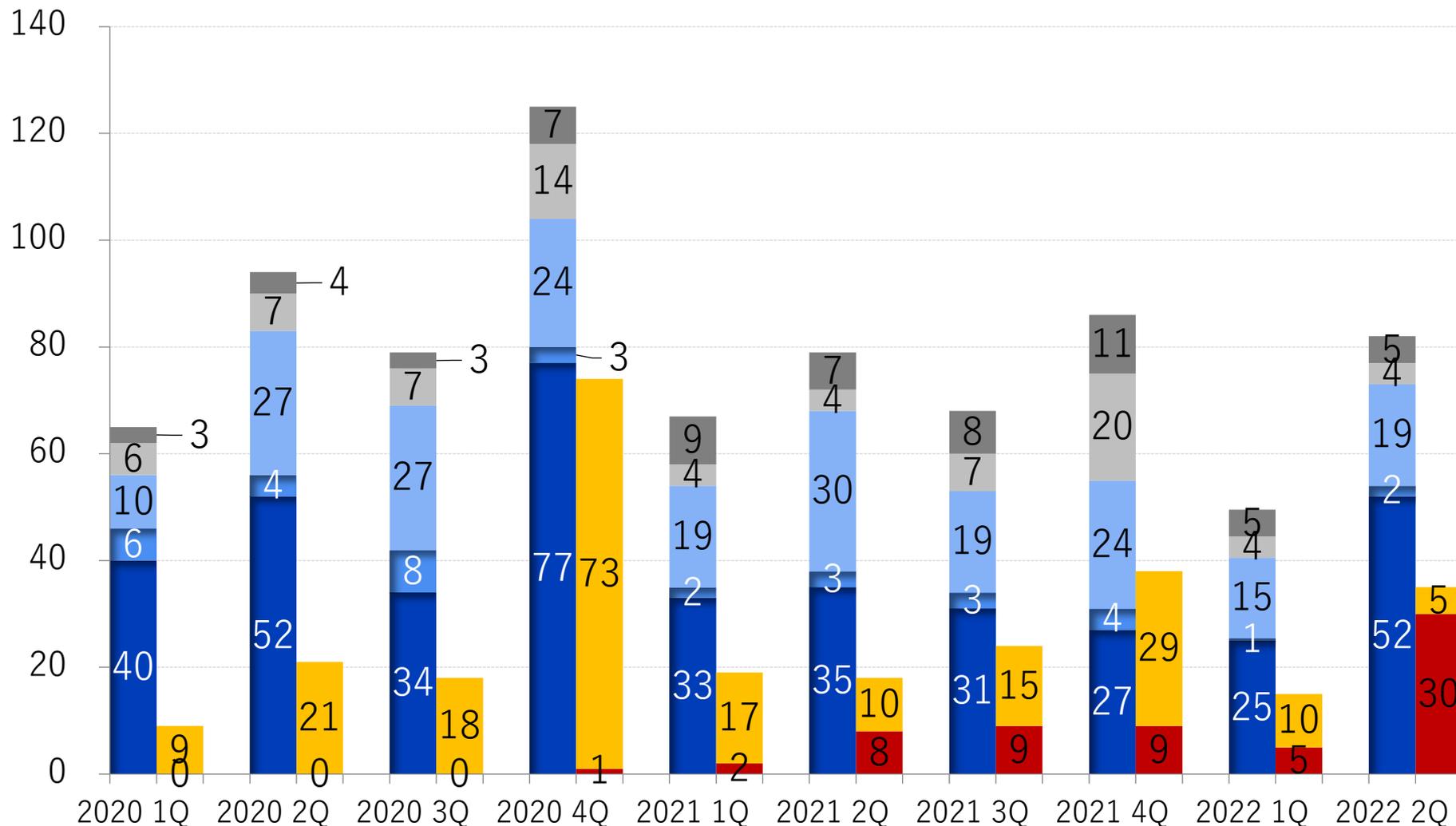
2.業績ハイライト (2022年2Q累計)

【単位：億円】	2021年12月期 2Q累計実績	2022年12月期 2Q累計実績	前年同期増減率
売上高	149	135	△9.6%
売上総利益	67	61	△8.8%
	(45.2%)	(45.6%)	—
営業利益	34	32	△4.0%
	(23.0%)	(24.4%)	—
経常利益	39	44	14.1%
	(26.2%)	(33.1%)	—
当期純利益	27	29	6.7%
	(18.3%)	(21.6%)	—
研究開発費	17	13	△24.0%
	(11.9%)	(10.0%)	—
設備投資額	4	6	43.1%
受注高	165	270	63.6%
受注残高	251	416	65.6%

(注) カッコ内の数値は売上高に占める割合を示す

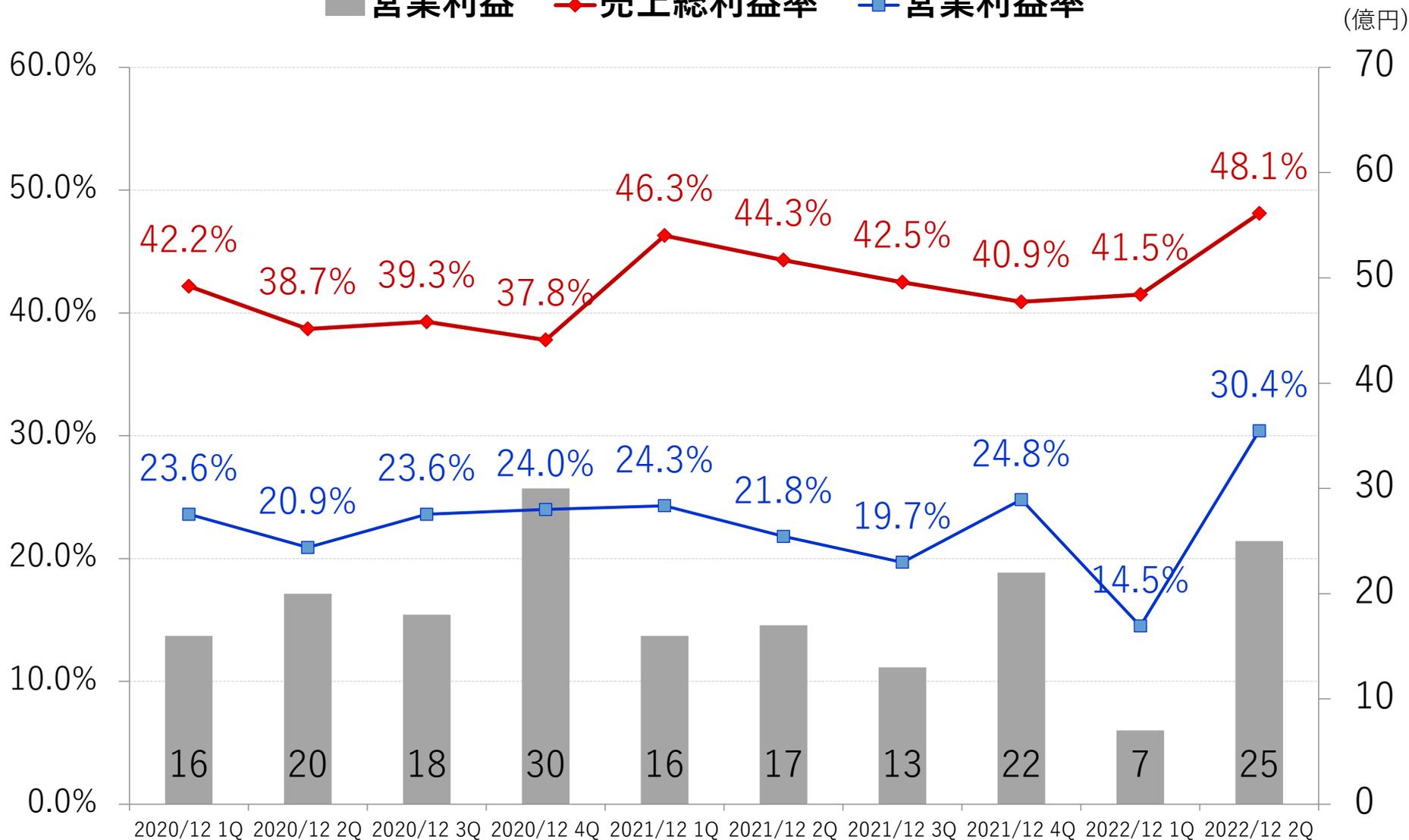
3.売上高内訳推移 (四半期毎)

(億円) ■ スマートフォン ■ カメラレンズ ■ IoT ■ LED ■ その他 ■ ALD ■ 新型装置(ALD除)

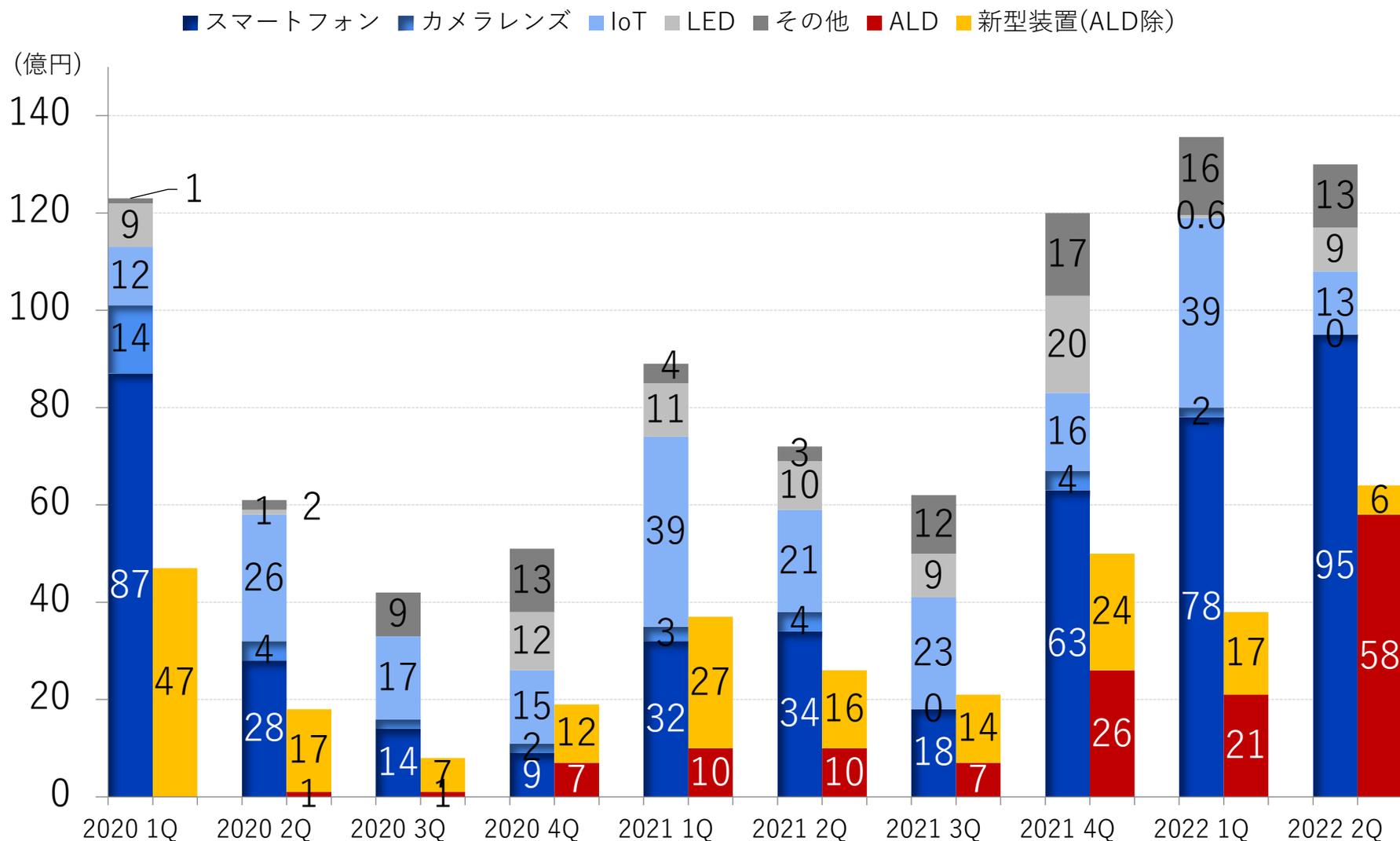


4.売上総利益・営業利益（四半期毎）

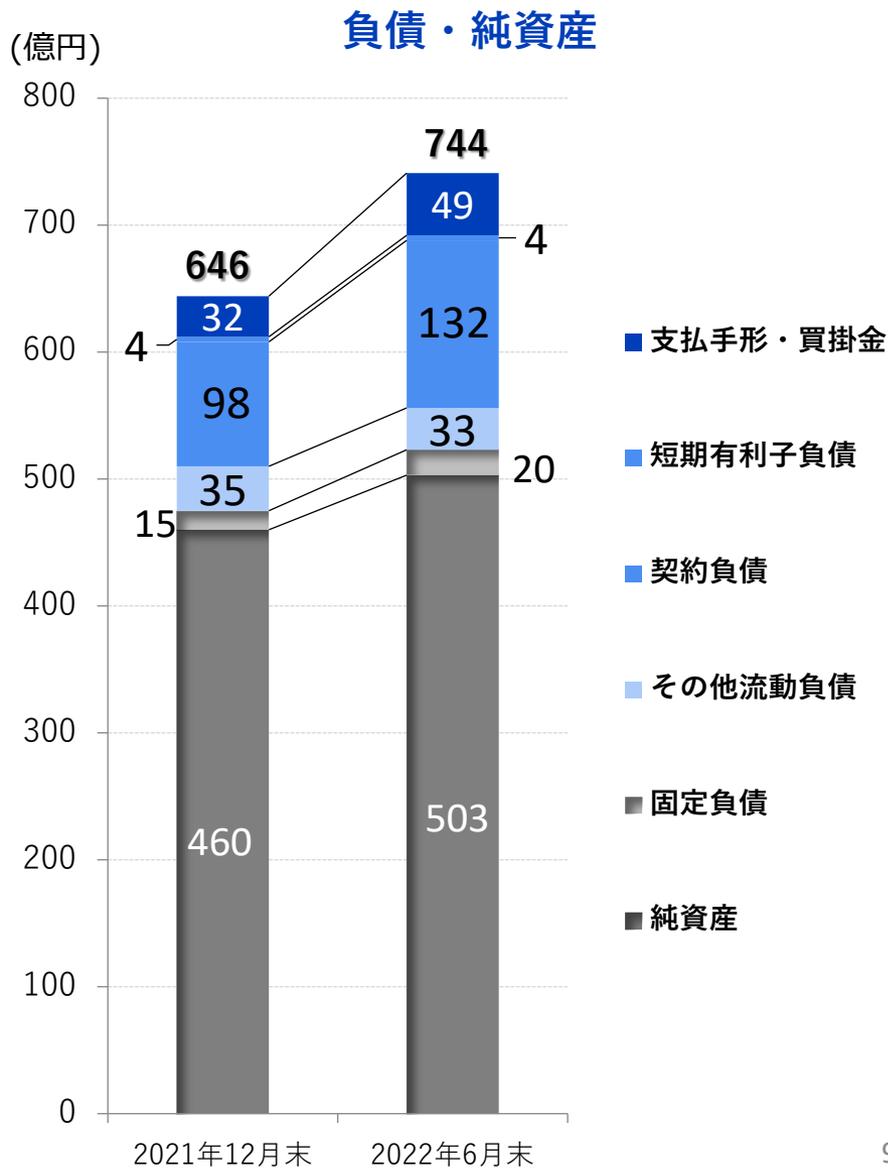
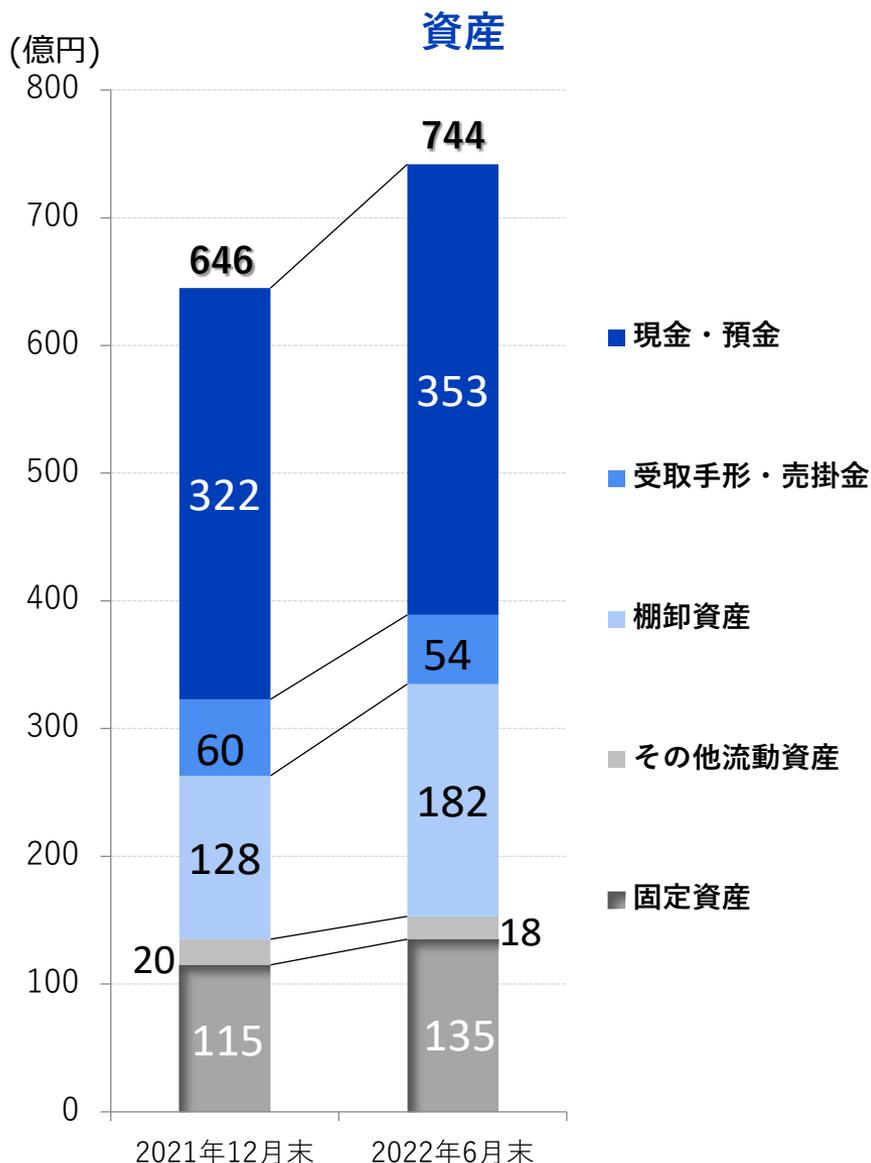
■ 営業利益 ◆ 売上総利益率 ■ 営業利益率



5.受注高 (四半期毎)



6.連結貸借対照表 (2022年6月末)



7. キャッシュフローの状況

(億円)

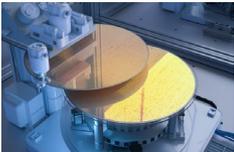
	2020年12月期 2Q累計 金額	2022年12月期 2Q累計		主な要因
		金額	増減額	
営業活動によるCF	107	38	△68	棚卸資産の増加のため
投資活動によるCF	△ 4	△ 5	△1	有形固定資産の取得のため
財務活動によるCF	△ 21	△ 21	0	配当金の支払いのため
現金及び現金同等物に係る 換算差額	6	18	12	
現金及び現金同等物の増減額	88	30	△57	
現金及び現金同等物の期首残高	227	322	95	
現金及び現金同等物の四半期末残高	315	353	37	

2. トピックス



8.受注動向

- 3Dや半導体光学融合の先端技術を必要とする、スマートフォンカメラの高機能化や、車載、AR/VR、半導体分野でのニーズが拡大傾向。

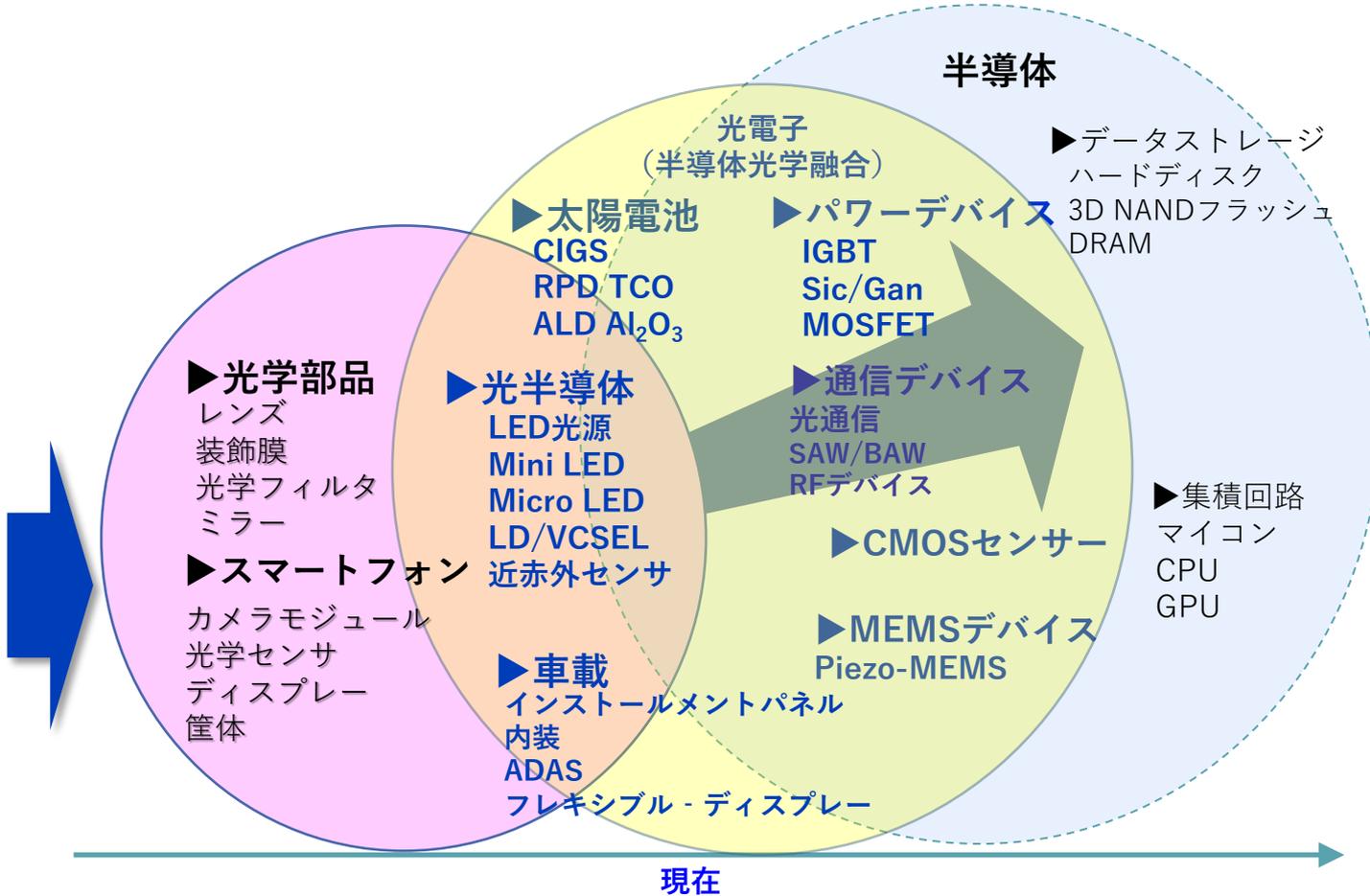
	<p>スマートフォン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラモジュールの大型化対応の需要が期待できる。
	<p>車載</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、車載カメラ、ヘッドアップディスプレイ、センサー等。
	<p>AR/VR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ゲームや製造業現場での利用等用途の多様化が進展。
	<p>半導体光学融合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● センシング分野を中心に、半導体後工程でのウェハ上の成膜ニーズが拡大。

9. 中長期ロードマップ（3D+半導体光学融合）

- 薄膜
 - ・ 反射防止膜
 - ・ 増反射膜
 - ・ 波長選択フィルタ
 - バンドパスフィルタ
 - 赤外カットフィルタ
 - ・ 装飾膜（カラー膜）
 - ・ 透明導電膜
 - ・ 防汚膜
 - ・ 傷防止膜
- 蝕刻（エッチング）
 - ・ 防眩加工

+

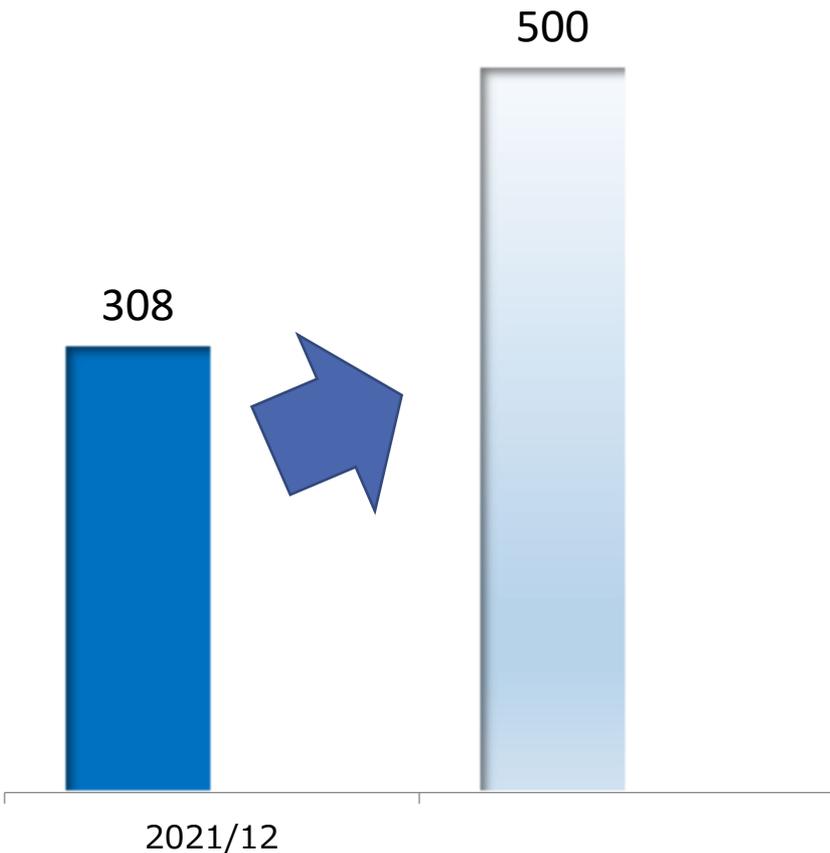
3D対応



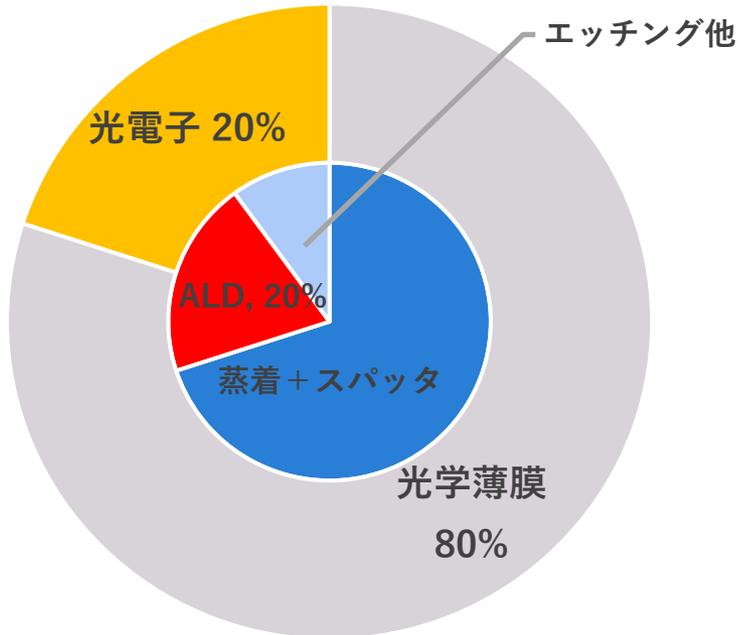
10.中長期イメージ

- 光学薄膜分野では、スマートフォン、IoT、LEDを中心に、トップシェアを維持。
- 今後は更に、光電子（化合物半導体、RFフィルター、パワーデバイス等）での新たな需要を取り込む（売上高の20%強）。

中期的売上高イメージ【単位：億円】



売上構成イメージ



11.ALD事業

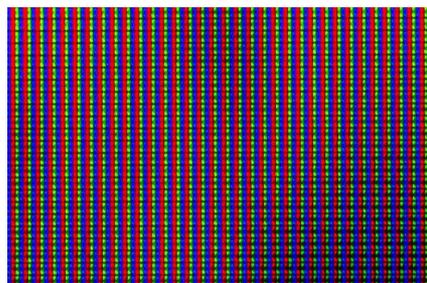
1. 応用分野

- レンズ、ディスプレイからAR/VRや半導体光学融合（ウェハレベル・オプティクス）

【スマートフォン(レンズ)】



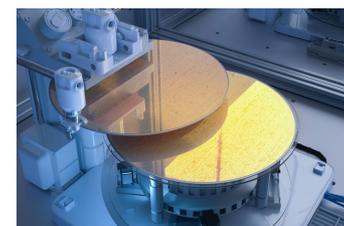
【ディスプレイ(ミニLED)】



【AR/VR】



【ウェーハレベル・オプティクス】



2. 光馳半導体技術（上海）有限公司による土地取得

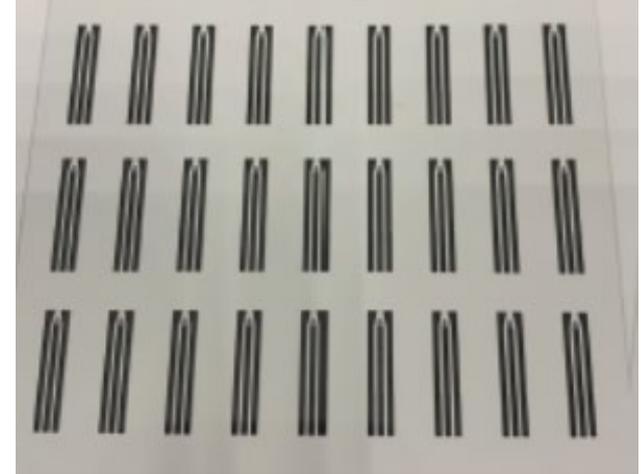
- ALD事業は、当社の中核事業に成長
- 中国市場のニーズを迅速に把握し対応できる体制に向け、工場建設用地の土地取得権を取得。



12. バイオセンサ事業

バイオセンサ事業

- 当社の成膜技術に基づくセンサ（電極）を利用した、血糖、尿酸用バイオセンサ製品において、当社の顧客がCFDA認証を取得した。
- 今後の顧客のバイオセンサ事業の本格化により、当社の製品ニーズが増加見込。
- これに伴い、バイオセンサ事業は、研究開発段階から事業段階に移行予定。



当資料に記載された内容は、2022年8月5日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【お問合せ先】

E-mail : ir-info@optorun.co.jp TEL : 03-6635-9487